

360度の
景観

リアルタイム配信

【神戸】末陰産業（兵庫県三木市、末陰孝博社長、0794・82・5261）は、

360度の景観をインターネットでリアルタイム配信できるネット



ワークカメラ（写真）を開発、5月から販売する。150万画素と

高解像度で、送信用パソコンや接続用サーバが不要。価格は4万円を予定している。

大阪大学基礎工学部の谷内田正彦教授らが

開発した、双曲面ミラーにより全方位の映像を自由に交換処理する

送信用ソフト内蔵 ネットカメラ発売 末陰産業

技術をベースに商品化した。インターネットをカメラに内蔵し、設備費を抑制でき導入がたやすいのが特徴。また、ほぼ

動画に近い画像をリアルタイムでパノラマ画像、部分切り取り画面に変換。さらにオープンで30ギガのハードディスクを搭載でき、約1カ月の録画もできる。

具体的な用途としてはセキュリティや各種コンテンツ作成、マーケティングツール、ライブカメラなどを想定している。